

トヨタ純正

チャイルド・シートEX取扱説明書



お子様の安全のため取扱説明書をよくお読みの上、
正しくお使いください。
本書は車の中に保管し、必要に応じてお読みください。

トヨタ自動車株式会社

名古屋市東区泉一丁目23番22号

目 次

§ 1 ご使用の前に	① ご使用いただけるお子様 ② 各部の名称 ③ 取り付け完成図	2
§ 2 肩ベルトの調整方法		3
§ 3 車両への取り付け方	① シートベルトの種類 ② 前向きに取り付ける場合 ③ 後向きに取り付ける場合 ④ ロッキングクリップの使い方 ⑤ 取り付け後の点検	4 8
§ 4 ご使用方法	① 着用方法 ② リクライニングの仕方 ③ サンシェードの取り付け方	9
§ 5 チャイルド・シートのお手入れ	① 表皮の外し方 ② 構成部品のお手入れ ③ 表皮の取り付け方	10
§ 6 その他の注意事項		10

《ご注意》

- シートベルトが取り付けられていない座席にはチャイルド・シートを取り付けることが出来ません。
- 車両進行方向に対し、横向きまたは、後向きの座席には、使用しないでください。
- 車両の座席及びトヨタチャイルド・シートバギー(トヨタ純正のベビーカー)との組合せ以外では使用しないでください。
- 奥行45cm以下の座席には取り付けないでください。

§ 1 ご使用の前に

■このチャイルド・シートは

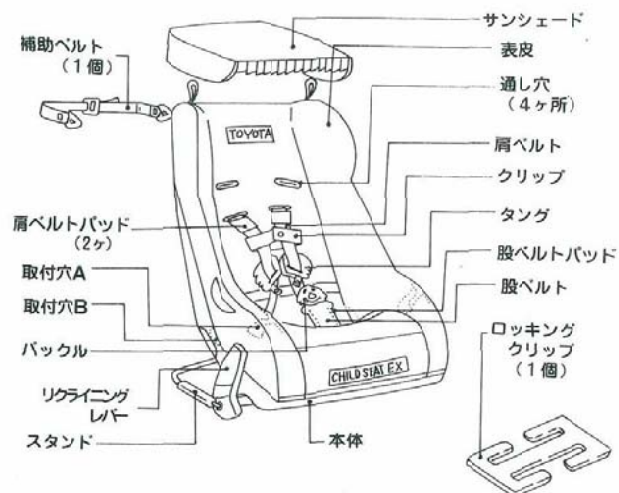
1. お子様の動きにより肩ベルトが自由に入出力し、緊急時のみロックいたします。
2. シートベルトを使用して前席または後席に取り付けます。
3. 車両進行方向に対し、前向きまたは後向きの2通りの取り付け方がありますので、お子様の年齢に応じて使い分けてください。
4. 前向きに取り付けた場合には、2段にリクライニングすることが出来ます。

①ご使用いただけるお子様

■目やすとして次の条件を満たすお子様にお使いください。

1. 年齢：生後6ヶ月～4才
2. 体重：7kg～16kg
3. ひとり座りが出来るお子様
4. 座った時、チャイルド・シートによってお子様の頭部が支えられること。

②各部の名称



《ご注意》
補助ベルト、ロッキング・クリップは紛失しないよう、大切に保管してください。

③取り付け完成図

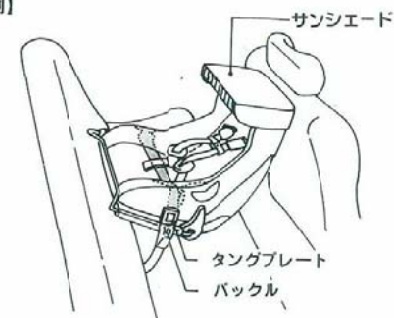
《前向きに取り付けた場合》

【例】



《後向きに取り付けた場合》

【例】



§ 2 肩ベルトの調整方法

■次のような場合には、肩ベルトを調整してください。

1. ご使用になるお子様の体に合わせて肩ベルトの通し穴の位置を変える場合。
2. 正しく着用しても、まだ肩ベルトにたるみがある場合。
3. お手入れのため表皮を取り外す場合。

手 順	1	2	3	4
方 法				
説 明	お子様の体に合わせて肩ベルトの通し穴②、①をお選びください。(身長、体重は目やすとお考えください。)	クリップを外し、次にバックルの(PRESS)ボタンを押してタングを外してください。	表皮をキャップが見える位置まで外してください。	肩ベルト取り付け部のキャップを外し、次に調節部からベルトを外してください。

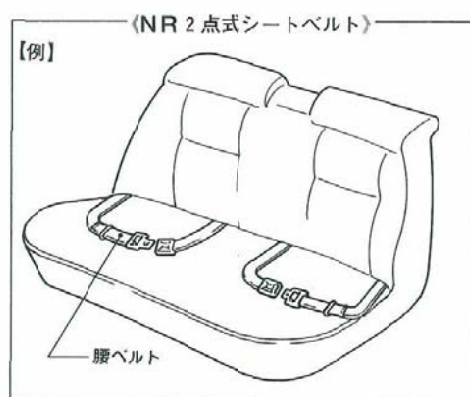
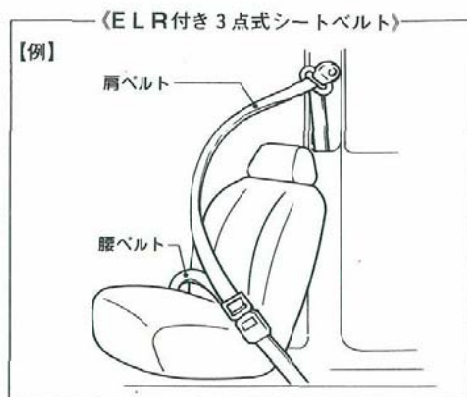
5	6	7	8
肩ベルトから肩ベルトパッド、タング、クリップ、キャップ、表皮を取り外し、[手順1]を参考にお子様に合わせて、背部の通し穴に肩ベルトを通してください。	肩ベルトパッド、クリップ、タング、表皮、キャップの順で肩ベルトを通してください。 《ご注意》 タングとキャップの組み付け方向を間違いないようにしてください。	調節部に肩ベルトを取り付け、お子様が着用した時、肩ベルトにたるみが生じないよう長さを調整してください。 《ご注意》 調節部から肩ベルト先端が5cm以上出るようにしてください。	①ベルトのねじれや長さ不均等がないこと。 ②ベルトの通し方向をまちがえぬこと。 以上を確認したあととキャップと表皮をもとどおりにはめてください。

《ご注意》
お子様が大きくなったら、通し穴②に調整してご使用ください。

①シートベルトの種類

■シートベルトの種類により使い方が異なります。
あなたのお車に合った取り付けをしてください。

ベルトの種類	ベルトの種類
●ELR（緊急時固定式ベルト巻き取り装置）付きシートベルト 通常は、ベルトが自由に出入りし急ブレーキ等、衝撃を感知した時だけロック機構が働き、ベルトがロックされるもの 《ELRの特殊な種類として次のものがあります。》 ●ELR 2個付き：肩ベルトと腰ベルトがそれぞれ巻き取られるもの ●2重巻きELR：肩ベルトと腰ベルトがいっしょに巻き取られるもの	
●ALR（自動ロック式ベルト巻き取り装置）付きシートベルト ベルトを任意の位置まで引き出せば、その位置で自動的にロックされるもの	
●NLR（非ロック式ベルト巻き取り装置）付きシートベルト ロック機構がなく、ベルトを全部引き出した状態で使用し、身体に合わせ、ベルトの長さを調節する必要があるもの 《NLRの特殊な種類として次のものがあります。》 ●巻き取り装置付き 2点式シートベルト：腰ベルトの途中に巻き取り装置のあるもの	
●NR（長さ調整式）シートベルト 巻き取り装置がなく、身体に合わせてベルトの長さを調節して使用するもの	



《ご注意》

車両の取扱書をよく読んで、シートベルトの種類を確認し、正しくお使いください。

②前向きに取り付ける場合

■1才以上のお子様には、チャイルド・シートを前向きに取り付けることをおすすめいたします。
次の手順に従って車両に取り付けてご使用ください。

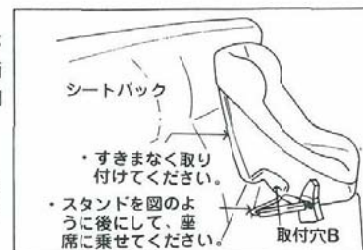
手順 1

●前席に取り付ける場合

チャイルド・シートとシートバックにすきまがないように車両シートのリクライニング部を調節してください。

●後席に取り付ける場合

チャイルド・シートが安定するようにシートバックに当ててください。

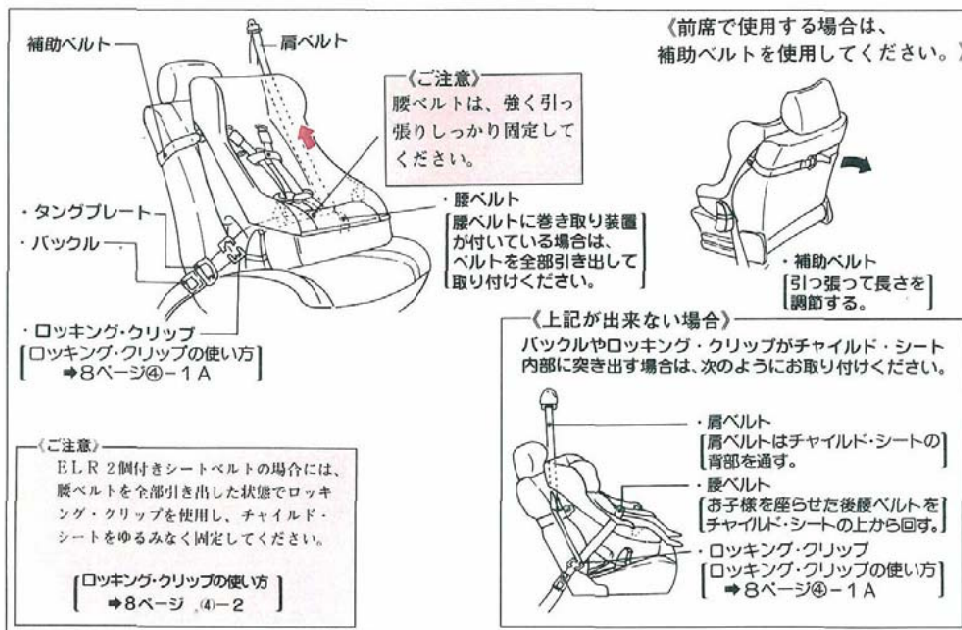


《ご注意》

安全性をより高めるために、後席へのお取り付けをおすすめします。また前席でご使用される場合には、シートを出来るだけ後方へ下げて取り付けてください。

手順 2 《ELR.NLR.NR 3点式シートベルトの場合》

1. 下図のように、取付穴Bにシートベルトを通し、バックルとタンブプレートとを結合してください。
2. 次にチャイルド・シートを強く座席に押しつけ、お子様が座っても腰ベルトが強く張るように➡印のベルトを引っ張り腰ベルトの長さを決めてください。
3. 一旦、バックルとタンブプレートの結合を外し、腰ベルトがズレないように、ロックング・クリップまたは調節部分でベルトを固定してください。
4. 再び下図のようにシートベルトを通し、バックルとタンブプレートとを結合してください。そして、お子様が座っても腰ベルトにたるみが出ないかチャイルド・シートを座席に強く押しつけて確認してください。もし、たるみが発生するようであれば、さらに腰ベルトを短く調節し取り付けてください。



手順 2 (NR,ALR,NLR,ELR 2点式シートベルトの場合)

1. 下図のように、取付穴Bにシートベルトを通し、バックルとタングプレートとを結合してください。
2. 次にチャイルド・シートを強く座席に押しつけ、お子様が座っても腰ベルトが強く張るように腰ベルトの長さを決めてください。
3. 一旦、バックルとタングプレートの結合を外し、腰ベルトがズレないように、ロックリング・クリップまたは調節部分でベルトを固定してください。
4. 再び下図のようにシートベルトを通し、バックルとタングプレートとを結合してください。そして、お子様が座っても腰ベルトに、たるみが出ないかチャイルド・シートを座席に強く押しつけて確認してください。もし、たるみが発生するようであれば、さらに腰ベルトを短く調節し取り付けてください。

NR,ALR 2点式シートベルトの場合	NLR,ELR 2点式シートベルトの場合
《ご注意》 腰ベルトは、強く引っ張り しっかり固定してください。 ・バックル ・タングプレート及び調節部 チャイルド・シートをゆるみなく 固定出来る長さに調節して取 り付けてください。(NRの場合) 《ご注意》 NR・ALRの場合はロックリング・クリップを使用 しません。 ALRは、シートベルトを上図のように通して バックルに結合してください。 《上記が出来ない場合》 バックルやタングプレートがチャイルド・シート内部に穴き 出ず場合は、次のようにお取り付けください。 ・タングプレート ・バックル ・スタンド [スタンドバーにバックルのベルトを巻き 付けて長さを調節してご使用ください。]	・タングプレート ・バックル ・ロックリング・クリップ ベルトを全部引き出し、この位置で ロックリング・クリップを用いて長さ を調節してください。 ロックリング・クリップの使い方 ⇒8ページ④-2 《巻き取り装置付き2点式シートベルトの場合》 巻き取り装置より、シートクッション寄りの部分に ロックリング・クリップをご使用ください。 チャイルド シート側 巻き取り装置 シートクッション ・バックル ・タングプレート ・ロックリング・クリップ [ロックリング・クリップの使い方] ⇒8ページ④-2

手順 3

- ご使用の前には、必ず8ページ⑤に従って点検を行ってください。

③後向きに取り付ける場合

- 生後6ヶ月以上～1才未満までのお子様には、チャイルド・シートを後向きに取り付けることを
おすすめいたします。次の手順に従って車両に取り付けてご使用ください。

手順 1

- ①表皮を本体の取付
穴Aまで外してく
ださい。
- ②表皮を股ベルトか
ら外してください。
- ③スタンドを凹部
にはめてください。



手順 2

- ①この部分がシート
と擦るように座
席に掛けてください。
- ②インストルメント
パネルまたは前席
に軽く当たるよう
に座席を前後に調
節してください。

《ご注意》

- 安全性をより高めるために後席へのお取り付けを
おすすめします。
- 前席に取り付ける場合はヘッドレストをさげてください。

手順 3

1. 下図のように、取付穴Aにシートベルトを通し、バックルとタングプレートとを結合してください。
2. 次にチャイルド・シートを強く座席に押しつけ、お子様が座っても腰ベルトが強く張るように印のベルトを引
張り腰ベルトの長さを決めてください。
3. 一旦、バックルとタングプレートの結合を外し、腰ベルトがズレないように、ロックリング・クリップまたは調節
部分でベルトを固定してください。
4. 再び下図のようにシートベルトを通し、バックルとタングプレートとを結合してください。そして、お子様が座っ
ても腰ベルトに、たるみが出ないかチャイルド・シートを座席に強く押しつけて確認してください。もし、たる
みが発生するようであれば、さらに腰ベルトを短く調節し取り付けてください。

ELR・NLR・NR 3点式シートベルトの場合	NR・ALR・NLR・ELR 2点式シートベルトの場合
肩ベルト バックル タング プレート ロックリング・クリップで固定する。 [ロックリング・クリップの使い方] ⇒8ページ④-1B 《ご注意》 腰ベルトは強く引っ張り しっかり固定してください。 腰ベルト [巻き取り装置付きの腰ベルト は全部引き出して使用してく ださい。] 《ご注意》 ●上図のように取り付けられない場合は、ロックリング・ク リッパをバックル側に取り付けてください。 (ロックリング・クリップの使い方8ページ④-1A) ●ELR 2個付きシートベルトの場合には腰ベルト を全部引き出した状態でロックリング・クリップを使用 し、チャイルド・シートをゆるみなく固定してください。 (ロックリング・クリップの使い方8ページ④-2)	・タング プレート 及び調節部 チャイルド・ シートをゆる みなく固定出 来る長さに調 節してください ・バックル ・ロックリング・クリップ より安全のためにチャ イルド・シート座面内 の股ベルト付近にロッ キング・クリップを取 り付けてください。 《ご注意》 巻き取り装置付き2点式シートベルトに は取り付けることが出来ません。

手順 4

1. 表皮をはめ、元の姿に戻してください。
2. ご使用の前には必ず8ページ⑤に従って点検を行ってください。

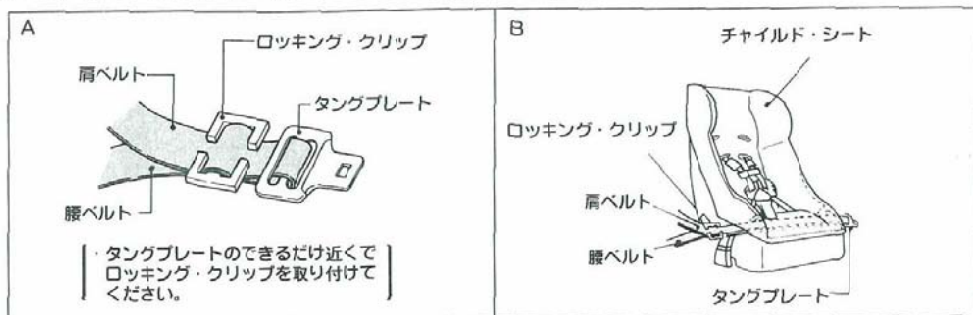
§ 4 ご使用方法

④ ロッキング・クリップの使い方

■ ロッキング・クリップは、タングプレートとシートベルトの長さの調節に使用いたします。

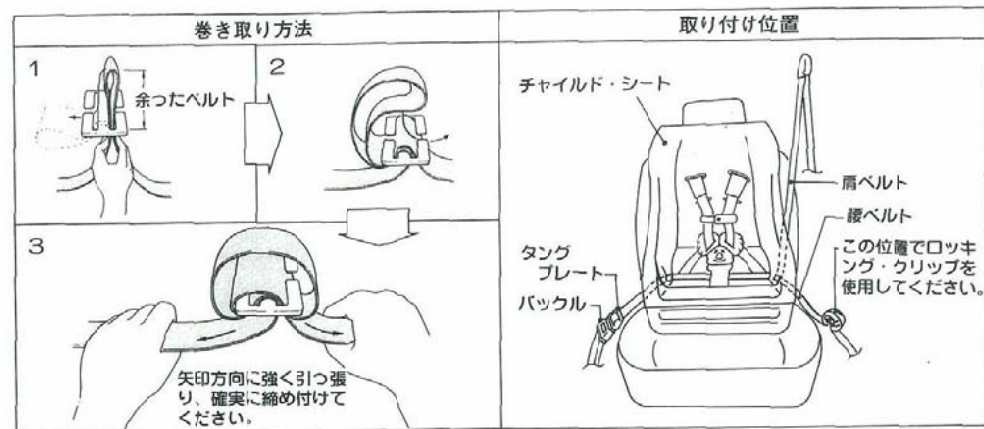
1. タングプレートを固定する場合

腰ベルトと肩ベルトを合せてロッキング・クリップを取り付けてください。



2. ベルトの長さを調節する場合

ベルトを全部引き出して使用する場合は、余ったベルトを次のようにしてロッキング・クリップで巻き取ってください。



⑤ 取り付け後の点検

■ ご使用前に取り付け状態の確認を行ってください。

1. 後向きでご使用される場合は、チャイルド・シートのスタンドが本体凹部にはまっていることを確認してください。
2. 車両シートベルトの腰ベルトにゆるみがないことを確認してください。
また、この時右図のように腰ベルトの中央部を上方へ引っ張り上げて、巻き取り装置に巻き残りのないことを確認してください。
3. バックルやタングプレート及びロッキング・クリップがチャイルド・シート本体の内部に突き出していないことを確認してください。
4. 補助ベルトを使用する場合には確実にチャイルド・シートが固定されていることを確認してください。
5. チャイルド・シートを前後左右にゆすってゆるみがないことを確認してください。

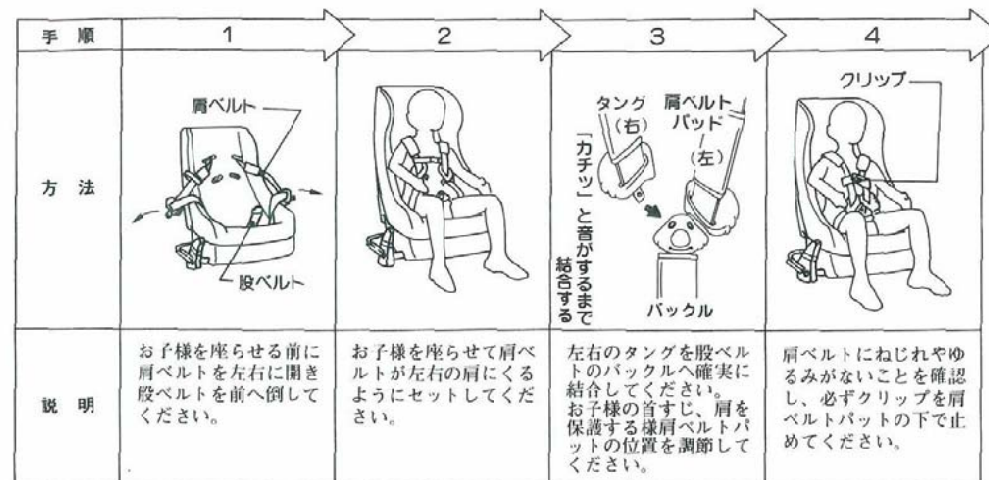
● 上記各項に示すように固定できないシートには、チャイルドシートを装置しないでください。



■ チャイルド・シートは次の方法に従ってご使用ください。

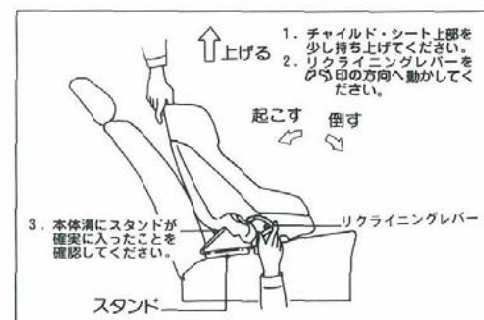
① 着用法

■ 次の手順に従って、チャイルド・シートにお子様を座らせてください。



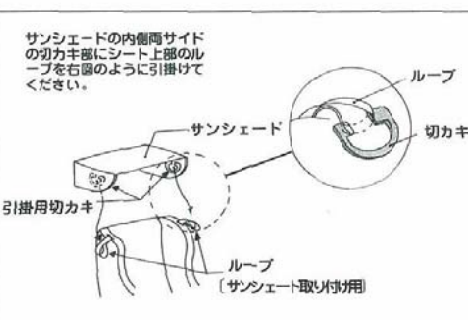
② リクライニングの仕方

■ チャイルド・シートを前向きで使用する場合には、お子様を座らせたままの状態のリクライニングさせることができます。



③ サンシェードの取り付け方

■ サンシェードは、1才未満のお子様を対象に、日よけとして使用してください。
〔体格の大きなお子様には使用出来ません〕



《ご注意》

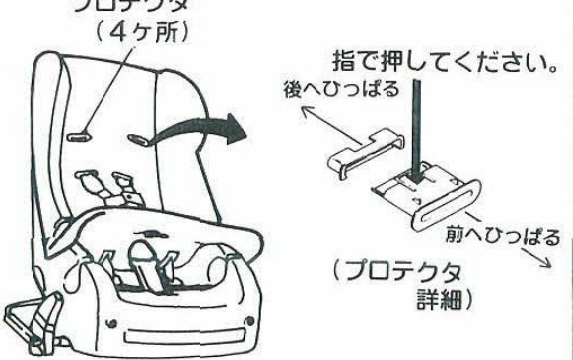
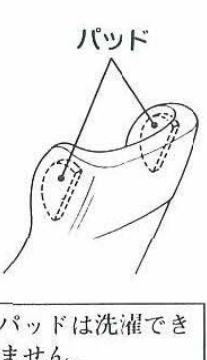
1. リクライニング操作は必ず車を止めて行ってください。
2. 補助ベルトを使用している場合はその都度調節してください。
3. 操作時、手や指をはさまないように気を付けてください。
4. リクライニング操作によってチャイルド・シートを固定しているベルトがゆるんでいないことを確認してください。
5. 前席の場合、シートバックの角度を調節してスタンドが本体溝へ確実に入るようにしてください。
6. チャイルド・シートの肩ベルトがお子様の肩にくるよ

- うにセットしていないと、衝撃が加わった時に肩から外れる場合がありますので、ご注意ください。
7. 表皮両サイドのポケットに、あまり大きな物を入れるとリクライニング操作の障害になりますので、ご注意ください。
8. サンシェードをご使用になる時は、ドアミラーの視界の妨げにならないよう、正しく取り付けてください。
9. サンシェード・肩ベルトパッド・股ベルトパッドをご使用にならない時は、紛失しないよう、大切に保管してください。

§5 チャイルド・シートのお手入れ

①表皮の外し方

■次の手順で表皮を外してください。

手 順	1	2	3
方 法			
説 明	キャップを外して調節部からベルトを外してください。	ベルトを穴から引き抜き、プロテクタ（4ヶ所）を前後へ外してください。	表皮を本体から外し表皮内のパッドを外してください。

《ご注意》

●本体底部のカバーや股ベルトを外さないでください。

②構成部品のお手入れ

- 表皮をチャイルド・シート本体から外し、肩ベルトパッド・股ベルトパッド各々をベルトからはずし、中性洗剤で手洗いし、陰干しでよく乾かしてからご使用ください。（股ベルトパッドは、上方向へひっぱりあげればはずれます。）
- 本体・スタンド・肩ベルト・サンシェードは中性洗剤で汚れを拭き取った後、陰干しでよく乾かしてからご使用ください。

③表皮の取り付け方

■洗濯後の表皮は、3ページの肩ベルトの調整方法と前述の表皮の外し方を参照して取り付けてください。

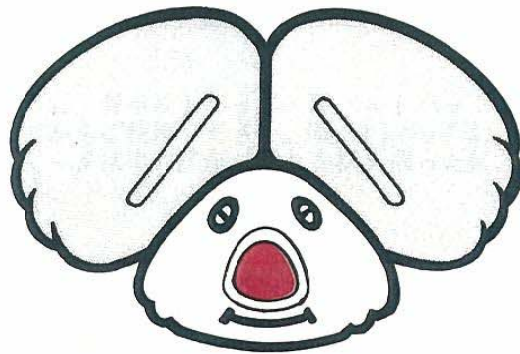
§6 その他の注意事項

1. お子様がバックルボタンに触れて、バックルが外れないようにご注意ください。
2. チャイルド・シートに日光が当たりますと、バックル部等が、あつくなりますので、金属や樹脂部品に触れて、あつさの程度を調べ、やけどをしないことを確認の上、お子様をおのせください。
3. 安全性をより高めるため、後席へのお取り付けをおすすめします。
4. ベルトの種類等により、確実にチャイルド・シートを固定できない場合は、他の座席に取り付けて、ご使用ください。
5. 2・3ドア車両の場合、後部座席に人が乗る時は、緊急時の脱出のため、チャイルド・シートを助手席に取り付けしないでください。
6. チャイルド・シートの股ベルトには、衝突時の衝撃を吸収するために、ブーツ内のベルトに特殊な縫製が施してあります。もし、何らかの理由により、右図のような状態になりましたら、お買い求めの販売店で、お取り替えください。
7. 事故により衝撃を受けたチャイルド・シートは、再使用なさないでください。
8. チャイルド・シートをご使用にならない時でも、安全のため車両シートベルトで固定しておいてください。
9. ベルトに傷がついた場合はお買い求めの販売店にて、お取り替えください。
10. むやみに改造しないでください。
11. ロッキング・クリップはチャイルド・シートを固定する場合のみ使用してください。
12. 性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。
13. ご不明の点は、お買い求めの販売店へ、お問い合わせください。



ご使用前に今一度お確かめください。

- チャイルド・シートがシートベルトによって確実に固定されていること！
- チャイルド・シートの肩ベルトにゆるみがないこと！
- チャイルド・シートのタングとバックルが、確実に結合していること！



Fun To Drive